

車いすラグビー官野 一彦(かんの かずひこ) 選手と バリアフリーについて考えよう！

みなさん、バリアフリーという言葉を知っていますか。低学年の人はあまり聞いたことがない言葉かもしれませんが、バリアフリーとは、みんなが安心して生活できるように、障がいのある人やお年寄り、子どもなど、誰でも使いやすくする工夫のことを言います。

たとえば、車いすを使っている人がスムーズに移動できるように、建物の入口には段差がなくスロープがあることが多いです。また、目が見えにくい人のために、点字ブロックという特別なタイルが道に敷かれていたり、音声で案内してくれる機械があったりします。学校でも、特別なトイレや手すりが設置されていて、みんなが安心して通えるようになっています。バリアフリーは、みんなが一緒に暮らしやすい社会を作るための大切な工夫です。

今回パラリンピック車いすラグビー元日本代表選手 官野 一彦(かんの かずひこ) 選手(リオデジャネイロ大会銅メダリスト)に校長先生が主催する「プロ・本物から学ぶ体験授業」をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。

パラリンピックの経験や車いすラグビーについて官野選手からお話を聞かせていただき、バリアフリーについて、縦割り班で私たちに何ができるかを考えてもらいます。

西堀小のみなさん、楽しみにしててくださいね。

- ねらい プロ・本物から学ぶ体験活動を通して、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤・基本を身につけます。
- 期日・日程
令和7年2月18日(火) 10:30～12:00 全学年 縦割り班で取り組みます
- 会場 校庭 (雨天時は体育館)
- 指導者 官野 一彦(かんの かずひこ) 選手 車いすラグビー元日本代表選手
- 内容 パラアスリートから「障がい」とは何か、夢・目標を持ちチャレンジすることの大切さを学ぶなど、指導者の体験談などを通じて、共生社会、多様性、SDGsなどについて考えます。そして、縦割り班でバリアフリーについて考え、私たちに何ができるかを提案する探求的な学びを行います。
- 持ち物 防災頭巾

官野 一彦(かんの かずひこ) 様 プロフィール

車いすラグビー銅メダリスト
障害者実業家 ライフクリエーター

サーフィン中の事故(22歳)で頸椎を損傷、車いすラグビー開始。1年後日本代表選出、パラリンピック2大会(ロンドン、リオ/史上初の銅メダル)出場。2020年引退。現在はパラサイクリングでパリ大会を目指す。また、ユニバーサリージム運営、バリアフリー住宅アドバイザー、啓発講演など精力的に活動中

